

禁光

742号

2022年5・6月
日本基督教団
田園調布教会
伝道部発行

〒145-0071
東京都大田区田園調布
3-34-18
電話 03-3721-2811
FAX 03-3721-2814
http://den-church.jp/

かまわないでくれ

列王記上 一七章一七〜二四節
マタイによる福音書 八章二八〜三四節

牧師 高橋 和人

対岸

主イエスは対岸に到着しました。そこは湖畔が断崖になっていて、そこからはデカポリス(一〇の町)と言われる、崖の上から広がる土地にギリシア風の一〇の町がありました。周囲のユダヤ人とは言葉も生活も違っていました。ユダヤ人には律法で食べることが禁じられていた豚がたくさん飼育されていました。さて、一行を迎えたのは悪霊に取りつかれた二人の男たちでした。二人は墓場から出てきて、その辺りの道を人が通れないほど危険で狂暴で異様でした。

この姿はギリシア風の町にはそぐわないものでも進んでいると考えていました。均整の取れた美や芸術、知性、科学と人間の能力を重んじる。それは生きた人間のすばらしさを讃える文明です。人間の理想を追求するのです。しかし、それは、人間の負の姿を見ようとし

ないものです。老いや、病、弱さには目を向けません。ですから、人の死には目を向けたいのです。この二人は死の場所に住んでいたのです。

墓は生命を重んじる文明には影の部分です。そこは人の文明の打ち払うことのできないことが支配しています。二人がいたことは、ただ例外的にその人がいたのではないことを示しています。悪霊に取りつかれ、墓場に追いやられた人々なのです。

文明の影

この時代は古代ですが、今も、人間の素晴らしさは褒められます。しかし、人の影の部分は追いやられます。コロナ禍で葬儀がすっかり変わってしまいました。病院や施設を訪ねることができなくなり、葬儀も人を集めることができなくなってきました。病や死が人の目から隠されてしまっているのです。

しかし、病を負い、悩み、悲しみ、死を迎

えることが人の姿です。生きることにはばかり注目することは矛盾を生みます。人の求める、健康で豊かな生活は人の姿の一部に過ぎないからです。

ですから、この悪霊は生きることと讃える世界の矛盾を背負う存在です。そこに町人は触れることができないでいるのです。

かまわないでくれ

主イエスはその向かってこられました。そこで、彼らは主イエスを見て突然叫び出します。そして主イエスの正体を見抜き、「かまわないでくれ」と言います。そして、自分たちを苦しめないでくれと言います。主イエスが向き合われることが、悪霊たちの脅威となります。彼らは、追いやられた、得体の知れない、恐ろしく、人々の脅威となつて、人々にもかまわないでくれと言われる存在であつたのです。しかし、主は死の恐怖をもたらし湖をわたつて来られたのです。

悪霊は豚の群れに入ることを願います。主は「行け」と言われ、はるかかなたの多くの群れの豚に入ります。それは悪霊が目に見えるようになった姿です。この二人がいかに多くの悪霊を負っていたのか、その影響の範囲がいかに深刻だったのかを示しています。豚の群れは崖を下つて湖になだれ込み、自ら滅んで行きました。それは、恐ろしい有様であつたでしょう。

この二人に取りついていたらもの恐ろしさがそこにあつたのです。死に向かう数知れないものが取りついていたのでした。

町中の者は主イエスに出て行ってもらいたいと言つた。彼らは恐れます。そして、主イエスを拒んだのです。釈然としない、飲み込